

令和4年度 福井市公民館連絡協議会 活動方針

基本方針

コロナウイルス感染の収束が読めない中、公民館に関わる事業にも影響が予想されるが、本会は公民館の「まなぶ・つどう・むすぶ」の理念のもと、公民館相互の連携連絡と職員の資質向上を図るとともに、会員の親睦を深め、社会教育の進展に寄与していきたい。方針として、1 市生涯学習課の事業実施方針に基づき、市民の生涯学習活動を支援し、「みんなが輝く全国に誇れるふくい（第八次福井市総合計画）」のまちづくり・人づくりを進めていくこと。2 そのために地域のコーディネーターとしての役割を果たし、地域の諸課題に取り組む活動に協力していくことを掲げたい。各館の取り組みはもとより、市公連の力を結集して、さらなる生涯学習の環境づくりをめざしたい。

具体的方針

1 公民館における生涯学習の実施と活動の支援強化

- (1) 不死鳥のねがい（福井市市民憲章）の主旨に基づく学習や実践活動を推進する。
- (2) 各地域における課題を把握し、解決につながる教育事業を推進する。
- (3) 生涯学習を推進するために、家庭・地域・学校との連携をはじめ、関係団体や機関との連携を進め、地域の教育力の向上をめざす。
- (4) 地域住民の自主的な学習や活動を支え、課題を共有しながら、みんなが学びあい成長する持続可能な地域づくりを推進する。
- (5) 公民館相互の情報交換を密にし、ブロック会を充実させる。

2 公民館職員の資質向上と連絡協調の推進

- (1) 公民館職員として市民の生涯学習支援に生きる専門性を互いに学びあうため、各種の研修会や大会に積極的に参加する。
- (2) 各館内やブロック内での研修を開催するとともに、情報の交換と共有化を図る。
- (3) 地域の実態に即した各公民館の独自性と、違いの良さを活用できるよう情報の交換と共有化を進める。
- (4) 市民が気軽に足を運んでもらえる公民館づくりに努める。

3 市公連組織としての取り組み

- (1) 公民館事業のさらなる充実のため、行政との協議を深め、施設設備の充実や財源が引き続き確保されるよう要望する。
- (2) 職員の勤務条件や福利厚生について、改善されるよう要望する。
- (3) 職員相互の信頼を深め、一致団結して組織の強化に努める。